



## 特集 ほっとサロンのご紹介



「ほっとサロン」は、シェルターに入っている方、シェルターを利用したことがある方たちの憩いの場・交流の場です。

開所日は毎週月・水・金の午後です。月に一度、食事会もしています。

生活保護をはじめとする各種の公的支援制度はシェルター利用者の抱える経済的な課題などを解決する

きっかけを与えてくれます。それによって、もうダメだという絶望感や、自分なんて、といった喪失感から少し解放されると同時に、就職や規則正しい生活習慣などの自立自活を取り戻す機会をつかむこともできます。

しかし、そのような支援活動を経験する中で、私たちが感じた大きな課題は孤立感や不安から抜け出せず、安定した生活をとりもどせない方がいるという問題です。背景には、無縁社会とよばれる孤立した家庭環境、人間関係があり、孤立や不安によってアルコール依存、ギャンブル依存、摂食障害といった問題を抱える人もいます。このように課題をなんとか克服できないかと、スタートさせたのが「ほっとサロン」です。



ほっとサロンの台所は狭いので、下ごしらえは大矢さんに自宅でやってもらっています

### 週3回の開所日(月水金の午後1時~4時)には、

年齢・経験・性格も出身地もさまざまな方たちが集まって、お茶菓子などを囲んで、自己紹介、最近就職したなどの近況報告など気軽ににぎやかに話しています。

### 月末ごろに開催する月に一度の食事会では、

鍋やカレー、素麺など季節のメニューを皆で味わいながら、交流を深めています。

食事を作ってくださいるのは、やさしいお母さんみたいな大矢さんです。大矢さん談:「なんと言っても食中毒などにならないよう衛生面には気をつけています。特に夏は。それから、みんなでおしゃべりしながらおいしく、楽しく食べてもらえる献立を考えるようにしています」。

NPO 法人フードバンク広島「あいあいねっと」のお世話にもなっています。

反貧困ネットワーク広島は「あいあいねっと」の会員になっていますので、ほしい食べ物があると無料でもらうことができます。毎週火曜日にカップ麺、コーヒー、菓子類などをもらいに行っています。

しかし、これだけでは足りないの、皆さんに寄付をお願いしています。特にカップ麺など保存のきく食料は、シェルターに入居される方たちに喜ばれます。

農家の方からお米（玄米）やぼん柑をたくさんいただいたこともあります。土鍋とカセットコンロを広島夜回りの会の方から寄付していただきました。

◇◇◇

様々な課題で貧困に落ちてしまった経験を抱えた方々は、それぞれに複雑な状況や思いを持っておられます。そのため、時には人間関係などのトラブルもありますが、それも孤立から抜け出す為の大切な時間になっています。これらの取り組みの中で、少なくない方々が新たに仕事を見つけ、さらに一歩進んでいかれました。

経済的な貧困は、その人を社会から遠ざけ、家族や兄弟、友人などの人間関係を奪っていきます。自立自活を取り戻す方々にとって、経済的な土台と同様に、自己肯定感や信頼感などが欠かせません。（S）



食品保管棚

問い合わせ先

電話：082-545-7709

担当：佐々木

## 春の講演会を開催しました

3月3日（日曜日）午後、YMCA大ホールにて



講演に先立って、様々な事情から貧困におちいった2人の方の経験談がありました。生活に困って訪れた質屋が「偽装質屋」。言葉巧みに年金の振替口座から「偽装質屋」に自動振り替えさせて高金利を巻き上げる。そんな経験をした高齢の方の話。もう一人は、会社の倒産により職を失い、住居もなく、途方にくれていて反貧困ネットワーク広島を見つけた青年の経験談がありました。 つづいて、反貧困ネットワーク広島山田代表から熱のこもった挨拶と、反貧困ネットワーク代表で元日弁連会長の宇都宮健児弁護士の講演がありました。

### 宇都宮講演を聴いて

前日、猛吹雪の北海道で講演とデモ行進をされ、飛行機の欠航トラブルの中を駆けつけてくださった宇都宮弁護士はいつもの柔らかな表情と語り口で講演されました。

都知事選への出馬については、石原都政になって日本一財政が豊かな東京で、格差が拡大・餓死者が二倍に増加・待機児童問題など、おそまつな福祉の状況になんとかしないといけないと思っていた。そこに市民団体から出馬要請を受け決意した。市民グループの中で基本政策を立て、①脱原発 ②反貧困 ③日の丸・君が代の強制に象徴される石原都政における教育行政の根本的転換 ④憲法擁護、この4つの基本政策に賛同する市民団体、労働組合、政党の支持を呼び掛けた。社民党や共産党、東京都議会、市議会には生活ネットが応援してくれた。50以上の勝手連もできて四谷の選挙事務所には毎日沢山のボランティアがきてくれ



たなど、選挙の裏話も聴かせていただきました。

貧困問題で政府が取り組まなければならないのは生活保護制度の改悪ではなく、貧困と格差の拡大をストップさせる政策である。貧困と格差の拡大の要因は、わが国の社会保障制度の脆弱性と非正規労働者の増加による働く貧困層の増加である。貧困、格差が増えた理由にメスを入れるべき。

宇都宮先生は格好良いし元気だ。広島も頑張らねば。（S）

## 医療費の減免制度の改悪に憤り

## 東区在住のKさんが辿った道

私は、23歳の時に突然倒れて記憶喪失になり、約1年間入院しました。しかし、まったく原因が分からず、82キロあった体重も36キロまでやせ衰えました。そのこともあって、23歳で離婚しました。

25歳ころに父親が大きな借金をかかえ行方不明になりました。その後、父の小さな旅行会社を引き継いで母親と一緒に必死で働き、400万円を超える借金を2年間で返済しました。しかし、同業者が増えて、仕事が回ってこなくなり、とうとう廃業することになりました。

10年ほど前に、母親が肺がんになり、3年ほどして死亡。この間、看病しながらアルバイトで頑張っていたのですが、母親を亡くし、生きる希望もなくなりました。母親の思い出を断ち切るために、それまで住んでいた借家を引き払いました。それからは、友人宅を転々とする生活になってしまいました。

53歳ころに身体が震え、全身の力が入らなくなって、病院に行ったところ、バセドー氏病と診断されました。治療費に毎月5千円ほどかかりました。アルバイトのわずかな収入からすると5千円の治療費は大変な負担でした。役所に勤めている友人から教えられ、「国保の一部負担金の減免制度」を利用しました。正直ほっとしました。減免の申請に行くたびに、担当者から「生活保護をうけたらどうか」と言われました。収入がほとんどないものですから当然かも知れませんが、母親が残してくれた僅かな預金を少しずつ食いつぶしていき、生活は大変でした。友人らにも大変迷惑をかけてきましたが、生活保護だけは嫌でした。はずかしいという思いと、当時は税金を使わせては申し訳ないという気持ちでいっぱいでした。

自分は医療費の減免制度に助けられました。この制度を広島市が財政難を口実に改悪しようとしていることに憤りを感じます。国保料減免の窓口の方は、簡単に生活保護にすればいいと言いますが、そう簡単なものではないのです。このことを、声を大にして言いたいと思います。

しかし、いよいよお金も底をついたある日、友人から「反貧困ネットワーク」を紹介されました。アルバイトもできなくなり、このままではどうしようもないと思い、藁をもすがる思いで相談しました。今では、家も決まり、毎日病院に行ってリハビリができるようになりほっとしているところです。

## 暮らしとこころの相談会

3月15日(金)、16日(土)、広島駅南口地下広場において、自殺対策をテーマとした日弁連主催の「暮らしとこころの総合相談」を行いました。相談件数は2日間で面談81件、電話10件で、相談内容は下の表のとおりです。昨年12月の相談会(面談77件、電話6件)に引き続き高齢者の相談が目立ちました。

今回は、「こころ」の相談会という側面を充実させ、約6割の相談には臨床心理士が精神面のアドバイザーとして対応しました。生活保護を受給して生活しているものの、借金のことが不安で一日3時間以上眠れない状態が続いている40代男性の心の悩み、ギャンブル依存症の夫の自立支援のために離婚という選択肢を取るべきかという30代女性の心の悩みなど、法律問題のすぐ隣には深刻な心の悩みがあることを、スタッフ同士も改めて再認識しました。

また、生活保護基準の切り下げられる中、現在の基準においても生活保護を受給できず生活に困窮している人がまだまだ多いです。これからは、より一層支援が必要な状況がくることでしょう。

2日間、昼休みには中国伝統楽器「二胡」の演奏や踊りのイベントを行いました。華やかな衣装や「二胡」の繊細な音色に心をいやされるひと時でした。(K)



(注) 1人が複数の問題を抱えておられるため上記表合計は面談数と一致しません。

相談内容	
借金	13
労働	12
生活苦	8
年金	7
心の悩み	6
貸金	6
損害賠償	5
相続	5
人間関係	4
その他	17

# 非正規労働者の権利実現全国会議 in 山口

1月26日(土)に山口市内にて

会議では、「自動車メーカー・マツダの派遣切り裁判」(注：右下の判決を参照方)と「テレビ西日本(TNC)正社員化裁判」の報告につづいて、講演「労働契約法改正と非正規雇用の闘い」とパネルディスカッション「非正規労働が生み出す貧困及び格差社会」がありました。反貧困ネット広島からは非正規を経験されたNさんとYさんに参加してもらいました。お二人の感想の一部をご紹介します。

Nさん：今回初めて非正規労働者の権利実現と言う集まりに参加させていただきました。一個人が頑張るのではなく、一人一人の声を一つの大きな声に変えて社会全体を変えていくという団結力に圧倒されました。リーマンショックから未だに闘い続ける「マツダ事件」、早く良い結果が出る事を祈るばかりです。

講演では、会社が法律をくぐり抜けて、労働者に仕事を与えないと言う重圧をかけて会社の言いなりにさせる。はじめは他人事のように思っていました。法律の詳細を知れば知るほど、他人事ではなくなり”驚怖”を覚えました。

Yさん：僕は過去に季節工に行った事がありました。そこで、派遣労働というものを初めて知りました。何で給料が違うの？って思った程度でした。今の日本の現状を考えると、会社の都合の良いように派遣を使っているなとも思いました。今の社会は、大会社の内部留保の為に労働者が貧困になっているのでは？と改めて考えさせられました。

自分もやっとバイトですが仕事に就く事が出来ました。それも前の職場の人が誘ってくれたからです。やっぱり思うのですが、人ってコミュニケーションがあってなんぼだと思います。それが出来ないと次に繋がらないと思います。人と人を繋げる事が今後の反貧困ネットワークに必要な事かなと考えさせられた1日でした。

## 原告側勝訴の判決が出ました

実質的な雇用契約が存在したのに不当に雇い止めされたとしてマツダ防府工場(山口県防府市)の20~50代の元派遣社員15人が、マツダに地位確認などを求めた訴訟の判決で、山口地裁(山本善彦裁判長)は3月13日、原告13人を正社員と認めた。雇用が続いていた場合に支払われていたはずの賃金の支払いも命じた。

判決は派遣社員を一時的に直接雇用する「サポート社員」制度について、労働者派遣法に違反すると判断した。15人中13人がこの制度の対象になっていた。

## 第2回NPO定期総会を開催します。

5月12日(日曜日)14:00~  
広島弁護士会館にて



## 今年の相談会の予定：

2013年6月21日(金)・22日(土)  
2013年9月10日(火)・11日(水)  
2013年12月10日(火)・11日(水)

### 会費・寄付振込先：

広島銀行 白島支店 普通 3235401 反貧困ネットワーク広島  
郵便為替 01390-1-98338 加入者 反貧困ネットワーク広島

正会員(個人)年会費	2,000円
正会員(団体)年会費	5,000円
賛助会員(個人)年会費	5,000円
賛助会員(団体)年会費	10,000円



NPO 法人 反貧困ネットワーク広島  
事務局 広島市中区東白島 14-15  
NTTクレド白島ビル7階  
広島総合法律会計事務所内  
電話：082-227-8181 FAX：082-227-1200  
**相談専用電話 090-4890-1579**  
(平日 10時~17時 担当:佐々木)

